

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
解剖生理学実習		雨宮 一彦	実習	1	前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	栄養士免許必修 栄養教諭二種免許必修			
学習目標	栄養士として人々の健康維持、増進に役立つ基礎知識を得るために、実習をとおして人体の構造と機能を系統的に学習する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	解剖生理学実習とは	解剖生理学実習の意義 人体構造の概要			
2	人体の骨格（1）	骨格モデルの作製と骨格模型スケッチ（胸部 腹部）			
3	人体の骨格（2）	骨格モデルの作製と骨格模型スケッチ（頭部、四肢）			
4	整理と発表	骨格の名称と特徴について班毎に発表と解説			
5	人体の臓器	臓器モデルの作製と人体模型スケッチ			
6	整理と発表	臓器の名称、位置、機能の特徴について班毎に発表と解説			
7	臓器と組織	顕微鏡操作、胃、腸管、味蕾の組織標本のスケッチ			
8	循環機能の実習	血圧測定、脈拍測定、聴診器による心音の聴取			
9	皮膚感覚の実習	皮膚の感覚点 触圧点による二点弁別			
10	味覚の実習	部位における味覚感受性差 味覚認知閾値			
11	重量感覚・敏捷性の実習	ウェーバーの法則 棒反応による反応時間			
12	消化・吸収の実習	炭水化物の消化、血糖の簡易測定			
13	腎機能・肺機能の実習	尿の糖、タンパク、比重の測定、肺活量測定			
参 考 書	梶江勇 他著「栄養・健康科学シリーズ：解剖生理学講義と実習」 南江堂 2004 河合清 他編「解剖生理学実験」東京教学社 2004				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	グループ発表を行う項目では、予め参考書で調べておくことが望ましい。				
評価の方法と時期	実習に取り組む態度（30%）、出席回数（20%）、レポート（50%）により総合的に評価する。				